

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教科	社会	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

◆近世初期までの日本や世界の特色について理解するとともに、社会の変化の様子や課題について多様な視点から主体的に迫る。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
3 学 期	(歴史的分野) 3章 中世の日本 1節 武士の政権と 成立	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立などを基に、武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。 武家政権の展開や農・商・工業の発達について理解し、社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。 武家政治の成立について、そこで見られる課題を意欲的に解決する態度を養う。
	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> 元寇などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開と東アジアとの交流が進んだことを理解する。 諸産業の発達や農村の自治的な仕組みの成立、応仁の乱後の社会の変化について理解する。 武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について多面的・多角的に考察する。
	4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いまで	<ul style="list-style-type: none"> 中世ヨーロッパの世界と同時期のイスラムの世界の成立を理解するとともに、ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸、そして日本にあたえた影響について考察する。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に出てきた重要語句の意味を理解している。 写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単元末テスト 小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 中世や近世初頭の日本や世界を大観し、時代の特色を自らの分析で多面的・多角的に表現している。 各テーマの課題について、積極的に自分の意見を考えたり発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 単元末テスト ノートの記述 単元ごとの課題

<p>学びに向かう姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノートに主体的かつ計画的に取り組んでいる。 ・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら調べ学習を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度 ・ノートの記述 ・調べてみたことレポート ・自主学習ノートへの取り組み
-----------------	--	--

4 使用する副読本

<p>題名</p>	<p>出版社</p>
<p>学習整理 1 (歴史)</p>	<p>学宝社</p>

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教 科	社会	学 年	2年
-----	----	-----	----

1 学習の目的

- ◆歴史分野においては、近世の日本を大観して時代の特色を多面的・多角的に考察する。
- ◆よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及。解決しようとする態度を身につける。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
3 学 期	歴史的分野 4章 近世の日本 3節 産業の発達 と幕府政治 の動き 5章 開国と近代 日本の歩み 1節 欧米化にお ける近代化 の発展 2節 欧米の進出 と日本の開 国 3節 明治維新 4節 日清・日露 戦争と近代 産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解する。 ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句の意味や歴史の流れを理解している。 ・時代ごとの特色や課題を理解している。近世の日本について、なにがきっかけで社会が変革し、支配体制が変化したかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各小单元において、特色に着目して他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に表現している。 ・近世の日本を大観し、時代の特色を多面的・多角的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト ・ワークシート（ノート） ・グループワーク ・プレゼンテーション
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら書籍やインターネットなどを利用し、教養を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する意欲 ・ワークシート（ノート） ・地理・歴史のワーク

4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 歴史 つながる歴史	学宝社 浜島書店

令和5年度和名ヶ谷中学校 3学期学習の指針（シラバス）

教科	社会	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

- ◆社会的な出来事の意味や意義を現代の社会生活と関連付けて様々な視点から考察する力を養う。
- ◆より良い社会を築いていくために、中学校の社会科の総まとめとして、地理や歴史で学習したことを生かし、現代社会に見られる課題の解決に向け、自分の考えをまとめる力や共有する表現力の向上を目指す。
- ◆現在、社会にあふれている様々な情報の中から、現代の社会的な出来事に関する情報を効果的に調べまとめる技能を高める。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
3 学 期	公民的分野 4章 私たちの暮らしと経済 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の金融などの仕組みや働きを理解する。 ・社会資本の整備、少子高齢化における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ・環境の保全と経済成長の両立するためにどうすべきか、持続可能性の観点から、自分事として考察し、表現する。 ・市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について政治分野で学んだ知識を生かして様々な視点から考察し、表現する。
	5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の平和の実現のためには、国際協調の観点から、国と国同士の主権の尊重と協力、国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。 ・過去の戦争を振り返り、現在起こっているさまざまな戦争や地域紛争を解決するために私たち市民ができることをまとめ共有する。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。
	千葉県公立高校入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県公立高校入試対策問題を実施し、志望高校の合格に向け、自分の苦手な分野を理解し克服を図る。

3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に出てきた重要語句や教科書の太字部分の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テストなど

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や調べ学習を通して得た知識を自分なりにかみ砕いてわかりやすく相手に説明している。 ・社会的な出来事に対して、自分の考えを持つことに加え、共有の時間を活用し様々な意見に触れることでより良い社会を実現するために何が必要なのかを判断しまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テストなど ・ワークシート（ノート） ・グループワーク ・プレゼンテーション
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら書籍やインターネットなどを利用し、教養を深めようとしている。 ・ワークシートの穴埋めを行うだけでなく、教員が話をした内容や他者との意見交換の際に、新しく得た知識や考えを適宜メモとして残すなど意欲的に授業に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する意欲 ・調べてみたことレポート ・ワークシート（ノート） ・公民のワーク

4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 公民	学宝社
予想問題 6回	学宝社